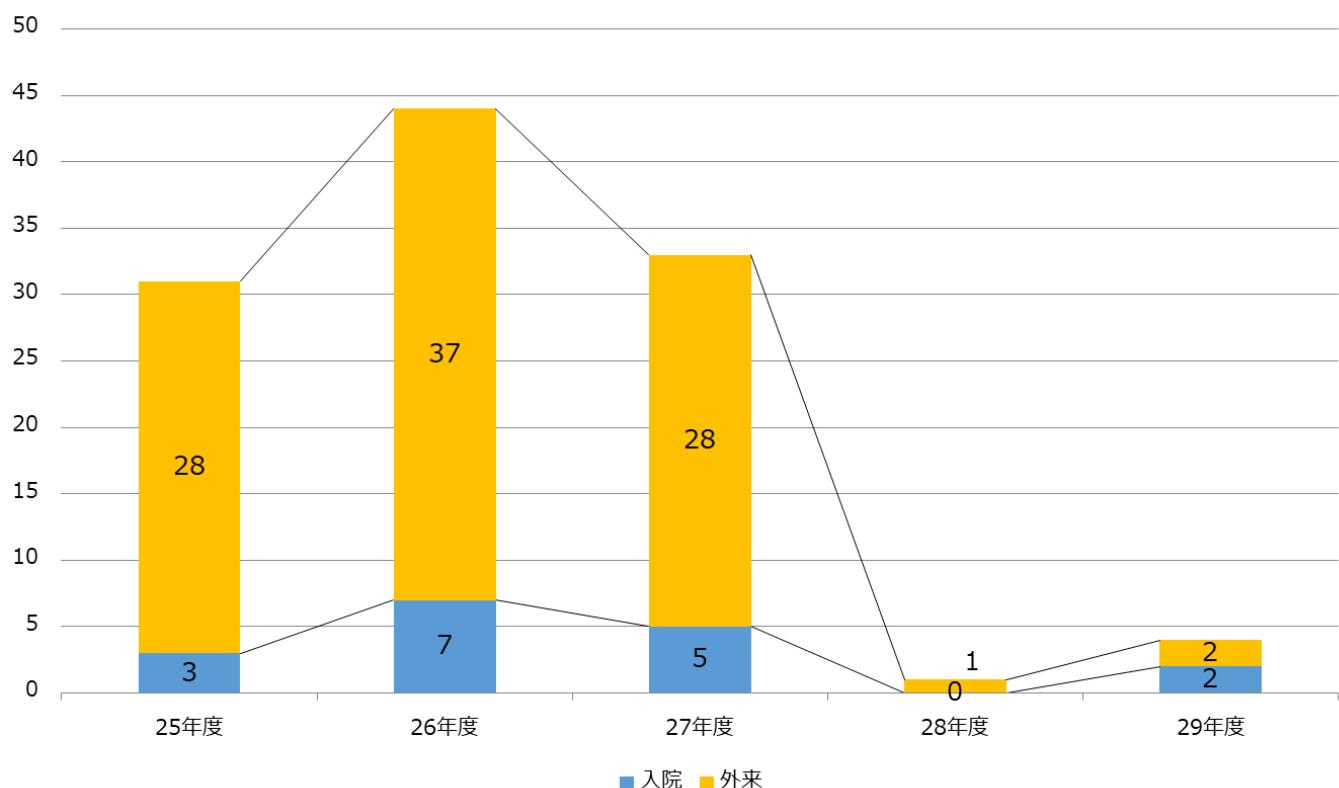


# 39 小児食物アレルギー負荷検査算定件数

## 指標の解説

- ・ 食物アレルギーを持つ小児がどこまで食べることができるかを判定する負荷試験は、アレルギーの原因となる食物を誤って食べてしまう事故を防止するために重要である。
- ・ 当該検査を多く行っていれば、小児医療の質の向上に貢献していると評価できる。



28年度は医師退職による体制の縮小のため、件数が大幅に減少した。  
29年度以降、医師の補充等の対策を進めている。